

「風格のある県都津市」の創造 ～施政方針から～



3月1日、平成24年第1回津市議会定例会の開会に当たり、前葉泰幸市長が施政方針を述べました。
この中で市長から、本年度の市政運営における基本的な考え方、重点的な取り組み内容などが示されました。
今号では、その主な内容を掲載します。
なお、施政方針の全文については、津市ホームページでご覧いただけます。

市民主導の市政を

津市は、城下町、街道筋の歴史により育まれてきた文化・コミュニティを有する都市、そして、明治22年に全国で最初に市制が施行された都市であり、多くの市民は、高い自治意識と歴史への誇りをお持ちです。私は、市民の皆さまが、この地にふさわしい堂々たる市政の推進を期待しておられることに応え、「風格のある県都津市」を創造していく決意を新たにいたしました。

また、時代が移り変わる中であっても、基礎的自治体においては、今、市民が真に求めておられるものは何か、そして、私たちにできることは何か、絶えず考えながら、地に足を着けた市政を進めていかなければなりませんし、それが未来を担う次世代に対する私どもの責任であると考えています。



施政方針を述べる前葉泰幸市長

そのためには、市民主導の市政を推進すること、そして、将来を見据えたまちづくりを一步ずつ着実に推進することが大切です。

市民主導の市政とは、市民と対峙するのではなく、同じ方向を向いて、お互いの役割分担のもとで、